

令和4年度東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会  
土壌肥料研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長  
農研機構東北農業研究センター  
緩傾斜畑作研究領域長 関矢博幸

1. 趣 旨

「みどりの食料システム戦略」および「スマート農業」に対応した東北地域の土壌肥料研究の課題や展開方向を議論する。また、研究成果および関連技術に関する情報交換を行い土壌肥料分野に係る試験研究の適切かつ円滑な推進を図る。

2. 開催日時 令和5年1月19日（木） 13：00～17：00  
1月20日（金） 9：00～12：00

3. 開催場所 アイーナ（いわて県民情報交流センター）  
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1

4. 議 題

1) 重点検討事項

「スマート農業技術を活用した有機物等の温度依存性資材の利用技術の高度化」

(1) 話題提供

「メッシュ農業気象データを用いた水田地温の推定とその利用」

新潟県農業総合研究所 本間 利光

「寒地水田における尿素・ウレアホルムの肥効」

拓殖大学北海道短期大学 岡田 佳菜子

(2) 有機質資材の利用または脱プラスチックに関する各県の取り組み紹介

(3) 重点検討事項に関するコメント

東北大学

牧野 知之

(4) 総合討議

2) 令和4年度研究成果情報の検討

3) 現場段階での重要な技術的課題の検討

4) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定

5) その他

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、東北農政局担当  
官、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 高橋智紀

TEL：0187-66-2775 FAX：0187-66-2639 E-mail：tomoki@affrc.go.jp

7. その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合  
や、リモート会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。

体調不良（発熱や咳、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等）の場合には参加をお控  
えください。

会場入口での検温および手指消毒、室内等でのマスク着用にご協力をお願いします。  
リモートの拠点となる会議室等に複数人数が参集する場合、各機関の担当者は会場が三密の状況にならないよう留意するとともに、参加者には検温、手指消毒の励行並びに発言の有無に関わらずマスクの着用を指示ください。

万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。